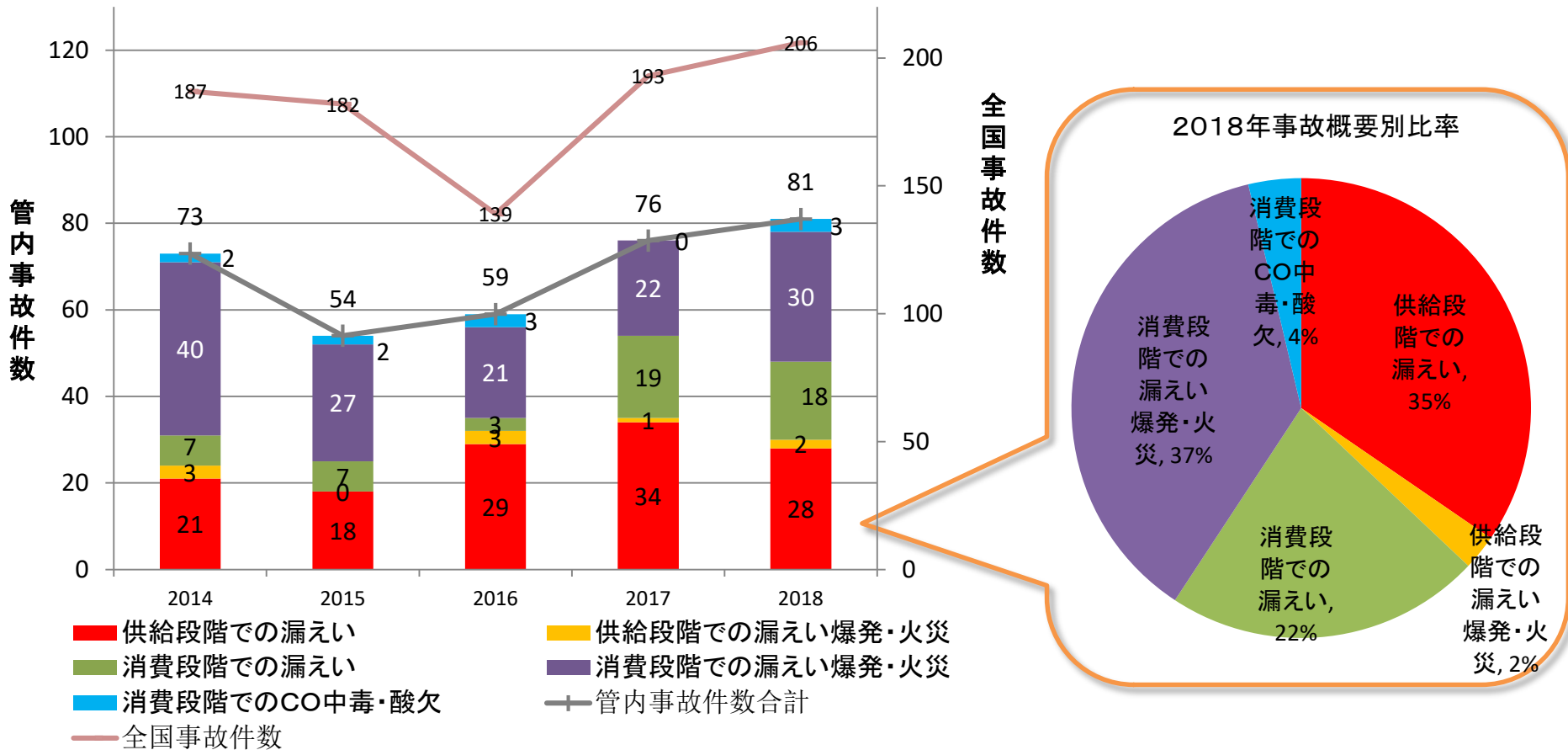


# 事故件数(LPガス)

- 2018年(1月～12月)の管内事故件数(盗難・喪失は除く)は81件となり、前年に比べ5件増加した。例年同様、供給段階での漏えい(35%)、消費段階での漏えい爆発・出火(37%)の割合が多くなっている。
- 供給段階の漏えいでは他工事による事故が多く、消費段階での漏えい爆発・出火ではガス栓の誤開放、風呂釜の繰り返し点火による事故が多い。

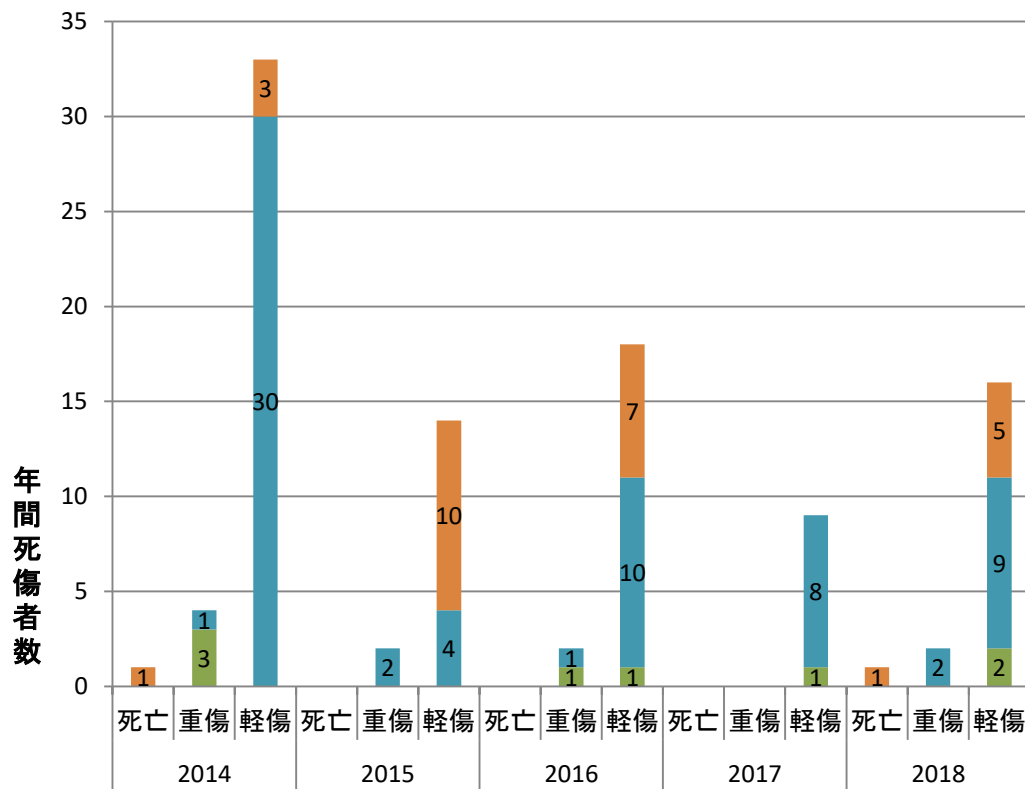
## ■2014年からの事故概要別管内・全国事故件数の推移



# 管内死傷者数(LPガス)

- 2018年の死傷者数は死亡1名、CO中毒5名、負傷者13名となり、昨年の負傷者9名から大幅に増加となった。人的被害は消費段階での事故に多く、燃焼不良及び換気不足によるCO中毒、ガス栓の誤開放、風呂釜の繰り返し点火による事故により人的被害に及んでいる。
- 2018年の事故概要別の死傷者数は、供給段階での漏えい爆発・火災が2名(11%)、消費段階での漏えい爆発・火災が11名(58%)、CO中毒・酸欠で6名(32%)となっている。

## ■2014年からの事故概要別管内死傷者数の推移



■ 供給段階での漏えい爆発・火災 ■ 消費段階での漏えい爆発・火災  
■ 消費段階でのCO中毒・酸欠

2018年事故概要別死傷者数比率

